

# 第 2 回「君原健二杯」報告書

## 共立大学生担当分

日時：2009/11/15 (日) : 7:30~16:00 ウォーキング：9:30~12:00

天候：曇り。風が強く、冷え込んでいた。

場所：北九州市立鞘ヶ谷競技場

### ウォーキングスタッフ (共立大学 14 名、北九州市立大学 2 名、計 16 名)

共立大学：根岸翔太・美濃健太・高尾広樹・梅原千裕・牧裕介・辻彩華・頼藤安那・堀之内恵梨子・砂川楓・井下理恵・井関めぐみ・山田淑美・新福裕司・白江寿也

北九州市立大学：杉本さきえ・宇都龍志

### 事前準備

大会の約 2 週間前からミーティングに参加して、スタッフの人数集めや資料作成などの準備を行いました。大会の 1 週間前にはウォーキングコースを下見に行き、実際に場所やポイントを調べました。

### 「君原健二杯」内容

北九州スポーツクラブ ACE 主催の「第 2 回君原健二杯」は“メキシコオリンピックマラソン銀メダリストの君原健二さん”を招いて開催されました。次代を担う子供たちには「身体を動かすことの楽しさ」を伝え、シニア世代には「いつまでも健康に歩くことができる」体力作りをテーマにウォーキングやタイムトライアルなどのイベントを行いました。その中で共立大学の学生は主にウォーキングのスタッフを担当し、北九州市立大学の学生は大会の受付を担当しました。

### 「ウォーキング」内容

参加者は小学生ぐらいの子供から高齢者の方までいて約 50~60 名でした。約 8 km のウォーキングコースを学生は、スタッフとして参加者が道に迷わないように先導を歩いてコース案内したり、定位置に立って誘導するなどの業務を担当しました。先頭の参加者は約 11 時頃ゴールして、最後の参加者の方は 11 時 50 分頃ゴールに到着しました。

## 「タイムトライアル」内容

タイムトライアルでは小学生、中学生、高校生、一般の男女を対象としていて、多くの人が参加することができました（詳しい人数は把握できていない）。その中でウォーキングスタッフの業務が終わった学生は、参加者の方にゼッケンを配ったり、スタート地点まで案内するなどの業務を担当しました。

一般男子のタイムトライアルには本学の学生も何名か参加し、参加者と一緒に競い合いながら良い交流ができました。

## 良かった点

- 今回担当したウォーキングで事故や怪我人等がでることなく無事に終わることができた。
- リーダーを担当したことで自分の経験不足が明らかになり、改善点を見つけることができた。

## 反省点（◇）と改善点（→）

- ◇ リーダーからの終了の指示がでていないのに、業務を終えていないスタッフが勝手に帰ってしまい参加者の方がコースを間違えていた。
- リーダーからの業務終了などの具体的な指示がなければ終了できないようにする。または、業務が終了してもリーダーからの連絡がない場合には、各自必ず連絡して確認するなどの対策をとる必要がある。
- ◇ 一般のウォーキングの方が多く参加者の最後尾がわかりにくかった。
- 次回は派手なピブスを着用させるなどしてわかりやすくするなどの対策が必要である。
- ◇ 大会の詳細についてスタッフに何度も連絡してしまい、要領の悪さが目立った。
- 伝達事項をメモするなどきちんと整理して何度も連絡する必要があるように要領良く伝達する必要がある。
- ◇ ウォーキングコースの下見に行ったのだが、コースやポイントをはっきりと覚えていなかった。
- カメラなどの撮影する物を持っていき、確実に把握できるようにする必要がある。
- ◇ 資料の作成に時間がかかってしまった。
- 資料の作成をスムーズに行うためには経験値を上げることが一番だと思うので、経験を積んでスキルアップする必要がある。



鞘ヶ谷競技場



ウォーキングを楽しむ参加者



タイムトライアルを頑張る子供たち



業務をこなすスタッフ



君原さんとスタート前の選手たち



タイムトライアルで参加者と競い合う  
スタッフ